

上越市議会議員 丸山 章 だより

全力で皆様の声を市政に!!

隕石の里から

いん

せき

さと



第15号 令和6年1月

発行責任者 丸山 章 / 上越市清里区馬屋777

令和5年6・9月議会 =あきらの一般質問=

焦点

成長のかなめ! 危険
組織のぬるま湯感

行政の組織体制

市民
(市政)のための
組織化重要

行政の組織体制



上越市役所本庁舎

この度の私の一般質問で、市長は国会にちなみ、大臣クラスが不足しているから副市長を増やさなくてはならないと。しかし、国と地方自治体では、基本的なしくみの違いがあるうえ、業務の専門性、複雑化や多様化、規模等が大きく異なることから、そもそも比較対象になりえない。国の体制を引用して判断してしまう市長の浅慮さが浮き彫りになってしまった。

市長は、財政が厳しいとの認識を示し、財政の健全化を唱えているが、一方で副市長4人制、管理職の肥大化等、行おうとしていることは逆行していると言ってもよい。とはいえ、必要性、必然性等、客観的に有効な政策であれば理解できるが、記者会見、各議員の質疑内容からして、市民(市政)にとって有益かつ効果的とは思えない。さらに、副市長4人制について、改めて議員に説明することであつたが、その後は音沙汰なしである。

問／条例に基づき副市長の任務が定められている。職員の仕事は監督、命を受けた政策、企画をつかさどり、副市長の権限に基づき執行していくと明記されているうえ、部・課・係等、組織内分権の体制が整っている。市長の組織内分権とはどうい

上越市の職員数は、平成26年度1,967人、令和元年度1,863人、令和5年4月1日現在1,754人と、年々減少しているにも関わらず、課長、部長及び部長級職員が増加していることから、第一線で働く部下への負担が高まっている。旧態依然とした組織体制ではなく、その時々状況に応じた組織体制へと移行することが肝要であることから、次の点についてたまたした。

うことか。

答／総合事務所では、独自の判断ができないうえ、予算措置もない。各部署で独自に判断し行動できるようにしたい。これが組織内分権と考えている。

問／総合事務所にある程度の権限を持たせ、予算配分し執行させていくことで良いか。

答／地域独自予算は第一歩である。

問／総合事務所に予算関係の権限を持たせるのか。

答／各区は、地勢も条件も全く違うので、統一ではなく独自に判断できるようにしたい。

補足

笹川部長の答弁は、経常的経費等のこと。今まで、しほりがなく総合事務所長が独自の判断で予算執行できる額は年90万円まで、主に緊急時に対応する予算である。

答／(笹川部長)：総合事務所長には権限を与えてあり、例えば3,000万円以下であれば決裁可能である。全権を与えることではない。この度も市長との相違が判明

副市長関連

問／副市長4人制にする意向だが、まずまず屋上屋を重ねるようなものである。財政健全化、他分野への予算配分等を進めるうえで、副市長4人制を取り下げるべきでないか。

答／人件費が増加する場合は、公約を始め、市の政策・施策の推進による成果を持つて、しっかりと費用対効果の発揮につなげたい。

問／新潟市長は就任されてから、行革の一環として副市長を3人から2人にされた。

答／国会で言えば大臣クラスの政治家の人数が足りないと思う。副市長は少し増やした方がよい。

問／国とは比較にならない。

市長は、副市長を増加させる理由として、以前より中央官庁との人脈づくり、財源獲得等とのことだが、自治体の長であれば誰もが行っていることであり、4人体制の理由

にならない。

答／国及び各シンクタンク、金融機関等で人脈を作っていくことについて、個人の能力だけでは無理であり、専門性を持った人材が必要である。

問／副市長を2人増員した場合、年3,000万円程の人件費が必要になる。また2人の副市長は部長経験者であるうえ、部に専門性を持った部長を配置し、それぞれの立場でマネジメントできる体制になっている。

答／職員は非常に優秀だが、どのような役割が必要か提案している。DX改革、構造改革で、効率化していきながら人件費を減らせる部分もあるか。

問／副市長は、理念、戦略等を作り上げ、中身をブレさせずにマネジメントする立場であり、現場で陣頭指揮を執ることは部長のマネジメントになるのではないか。

答／副市長が陣頭指揮して、間違いないようにするための体制である。

一考

副市長、部長、課長、それぞれのマネジメントのレベルや範囲は異なってくる。様々な案件が集中した場合、副市長が現場で陣頭指揮を執ることは極めて難しく、誤った組織論といえる。当市は、部・課・係制の職務階級を整えているため、市政方針等におけるビジョン・戦略の構築、現場対応等については、主に部長等の職責に委ねることにより、時に、トップの方針との違いが生じた場合は、その都度判断を仰げばよいことである。こうしたスリム化による組織の指揮命令系統によって、機動性の高い、フットワークの良い組織になる。

理事、部長級などとする職務を設けるからこそ、上級幹部の肥大化につながり、組織が頭でっかちになってしまいう上、ひいては指揮命令系統が曖昧になり職員、市民を混乱させる要因にもつながる。上越市の規模、現状、社会現象等をつぶさに振り返りながら、組織を見直し、上越市の発展に向けた組織体制づくりを行うことが大切である。類似自治体の組織・役職を真似ての「職員のための組織体制」であってはならない。

理事関連

問／今まで、八木副市長が理事を兼務してきたが、何か問題が生じたのか。

私は理事を置く必要はないと考えるが、理事の必要性を聞きたい。

答／理事の職の必要性を確認し、有効に機能していることを実感したため、本年4月から兼務を解き、単独で理事を配置する体制とした。

問／副市長と部長の中間に理事が存在しているが、組織体制上は理事と部長は同列である。マネジメントの合理性に歪がでるのではないか。

答／多様性が深まっている中で、違う立場でブラッシュアップするために必要と考えている。

問／理事は、各部署に指示し、分野横断的な政策課題を検討・研究するほか、重要課題の総括的な調整結果を特別職へつなぐなど、事務方のトップの職であるとのことであるが、これこそが副市長

のマネジメントでないのか。

問／市政の重要課題に関する事務レベルでの総括的な調整結果を市長・副市長につなぐ重要な職務である。

部長関連

問／部長はマネジメントに徹し、部下の裁量で仕事を行えるよう権限移譲を行い、組織をスリム化する。さらに、本来必要とする部長(部長級)数に改めるなど、抜本的な組織改革が必要と考えるがどうか。

答／第7次総合計画を推進するため、11部を設けた。部長級職員についても職務の困難度や専門性、重要課題への対応などを見定め、適切な人材を配置した。

問／部長級職員は、大局的な視野及び将来展望に立つて方針を決定し、部下職員を統率して所管業務を推進するとしているが、これは部長のマネジメントである。部長の下に(仮称)首席課長と

新潟県三大都市の副市長等の人数比較

単位：人

	副市長	理 事	部 長	部長級	教育長	教育次長	教育部長	代表監査委員	病院事業管理者	ガス水道事業管理者	ガス水道局長	水道事業管理者	水道局長	合計	人口 (5/1現在)
上越市	2	1	11	14	1		1			1	1			32	183,877
新潟市	2	5	35		1	2		1	1			1		48	770,893
長岡市	2	3	16	13	1		1						1	37	259,968

理事について

※各市の組織規則…新潟市、長岡市の理事は、上司の命を受け**特命事項**を行うと規定、代決権限を有している。当市は、特定の政策の推進に係る部局間の調整及び事務の総括を行うと規定、決裁権限はない。まさに副市長のマネジメントの範疇と言える。

答／部長級職員は、大局的な視野、将来展望に立って所管業務方針を決定し、業務を推進する職務である。

上越市の部長級以上の給与額（一人当たり）

単位：万円

	副市長	理事・部長（部長級含む）平均	ガス水道事業管理者
給 料	850	550	730
期末手当	290	370	240
諸 手 当	—		—
共 済 費	200	190	210
合 計	1,340	1,110	1,180

※以上のほか、退職した際に退職金を支給

- ・副市長の令和4年度の退職手当（1人分）…1,050万円（4年分）
- ・部長級（大学出身22歳で入庁、38年間 勤務60歳で退職）試算2,550万円/1人

問／ガス水道管理者を置

かず、その権限を以前のよう

に市長又は副市長の兼務で良いのでは。

答／原料価格等の高騰等の対応、人材育成等、様々な経営課題の対応が求められることから現体制をしっかりと確保することが大事である。

あきらのつぶやき

市長公約等のミッションを完成へと導くには、組織体制はとても重要で、組織体系がスリムのうえ、指揮・命令系統が一元化できるように構成することが大切です。当市の規模、組織体制図からして、副市長4人制・理事・部長級の必要性における答弁は、説得力を欠くものです。

市長・副市長はトップマネジメントに分類されるため、副市長は、市長の意向に沿って各部長に指示を出す。部長・課長はそれぞれの職階・職責に基づき、部下にマネジメントを行い、政策（施策）を推進しミッションの完成へと繋げていくことになることから、理事・部長級は不要であることは明らかです。

指揮命令系統とは、トップから最下層までたどる権限の系統であることから、その系統に一貫性が必要になります。当市のように、複数の同列な上司に部下が仕えるという歪な状態になっていることは、市政運営において有益にはなりません。

重要 公平・公正な
市民の
懸念払拭へ
プロポーザル方式
＝あきらの進言受入＝

要領等の整備を担当部署に指示

この度の「通年観光計画

策定支援業務委託」業者

の選定にあたって、プロポー

ザル方式により業者を決定

したが、その選定過程にお

いて大きな疑義が生じてし

まった。選定に当たって、

公平・公正、競争性、透

明性を担保できなければ、

市民に不信感を与えてしま

うことから、次の内容をた

だした。

問／事業者を選定するに

当たり、選定委員会が

設置され、市職員2人・

民間5人が選任されたが、

選任の経緯を聞きたい。

答／男女比に配慮し、観

光に関して見識を有する

方等7人（男性4人、

女性3人）を選任した。

問／事業委託した業者は、

昨年から通年観光に関

する市の計画策定プロセ

スに関与してきたとの報

道があったが、委員はこ

のを知っていたのか。

答／市と選定事業者とのこ

れまでの関わりについては

伝えずに、審査を行って

もらった。

問／プロポーザル方式にお

ける評価のあり方、選定

基準・規定等を整備す

る必要があると考えるが

どうか。

答／基本的な考え方や汎

用的な作業手順の整理

が必要であると認識を新

たにした。プロポーザル

方式に関する要領等の

整備を進める。

令和5年9月議会 =あきらの提言=

“オンリーワン”の施策 直江津区にスポット**キーワード** 歴史文化、海、夕日**コンセプト** ①歴史文化・海&夕日をテーマとした直江津の特徴・素材を生かした整理された美しい街をつくる。

②美味しい食材（地魚・お米等）と地酒をとことん味わっていただくとともに、上越（直江津）ならではの風情に浸っていただく。

ねらい 国内外の観光客の増加、宿泊観光（市内経済の活性化）へ導く、移住定住、市民の更なる向上心の醸成。**位置** うみがたりから安国寺通り（県道直江津停車場線）を経て直江津駅までの約1km。**オブジェ及び街灯の設置**：うみがたりに展示している魚類のオブジェ及びコンセプトに沿った街灯を設置し、夕日にちなむ色合いで街を照らし、「オーシャン・ヒストリーロード」を特徴づける。**町家等の改修** 昭和（町家）の風情を復活させる（令和3年3月定例会の一般質問で提言したとおり。）**名称****「オーシャン・ヒストリーロード」****構想****無電柱化** 張り巡らされている電線は景観を損ねているため、電線を地中化することで、安全、快適な都市空間が生まれ、美しい街並みが形成される。**道路色** ブルー又はオレンジ色に統一（色の明るさは中明度、中彩度）**やすらぎ（歩行者）天国** 認知度が高まって来た場合は、県と協議の上、やすらぎ天国を設ける。時間帯は状況に応じて要検討。さらに、将来的には状況に応じて、市民の賛同の下、道路整備（県道の移転含む。）を視野に、歩行者優先（専用）道路（約600メートルの直線）とすることを検討する。**核となる施策に**

まちづくり・観光振興において、投資額以上の効果が期待できることから将来的に高い費用対効果が見込める。

特徴・素材を活かす**圧倒的な存在感を示す!!**

直江津区は、高田区と同様に対外的な認知度は他地域に比較して極めて高く、この地域の存在感をさらに高めるため、核となるオンリーワンのまちづくり（観光振興）を目指すことが重要である。ひいては、当市のブランド力の向上に資するうえ、他地域の魅力や観光資源等の価値の高まりが期待できるとともに、まちづくり、地域づくりへの波及効果も大きくなると考える。直江津区の素材を活かしたまちづくり・観光振興策を提言するが、いかがか。

答／直江津の魅力を総合的にブランディング化することで、市外への訴求力や発信力を高め、多くの方にお越しいただくことを目的としている内容と捉えており、参考にしたい。

ちなみに、平成31年3月定例会の一般質問において、関川とその支流からなる複合扇状地になっている高田平野や山（妙高連峰・関田山脈・名峰「米山」、海など、当市の自然が織りなす特徴ある素晴らしいロケーションを活かした提言を行った。内容は、高田城址公園の「桜」という観光資源を活用し、上越市全体を日本庭園に見立てた「日本桜庭園・上越」構想。日本・世界に類を見ない規模で、しかも市民総参加で、市民自ら創り上げるといって、高田区はもとより上越市全体のまちづくり（観光振興）策である。（ホームページをご覧ください）

「見直しの時期」明示せず

分室の見直し



発達支援センター（寺町）
すこやかなくらし
包括支援センター

のセンターへ移行した。
問／今後、何年ほどで解決する予定なのか。

答／行革的に事務の効率化という観点だけでなく、療育の質、サービスの向上の面からの見直しであることから、丁寧に時間をかけて、慎重に行っていきたい。

問／この問題を十数年間引つ張り続けてきた。5年前に私が指摘したものの、解決に向けた行動をしなかった。年数を区切って努力する必要があるのではないか。

答／常に、集約の方向で考えている。保護者と協議を重ねながら一定程度のスピード感を持って対応していきたい。

あきらのつばやき

今まで、一箇所に集約したい旨の答弁でした。しかし、この度の答弁で、行革的に事務の効率化という観点だけでなく、何よりも療育の質、サービスの向上といった面で見直しのところと。それなら一か所に集約するのではなく、公平な観点から私が昨年6月議会一般質問で提案した、柿崎区・浦川原区・板倉区エリアに一箇所ずつ設置するのが妥当というものです。果たして一年後はいかに

問／昨年6月定例議会でも、額北4区に偏っている点を指摘したところ、早く解決したい旨の回答があった。具体的なスケジュールを立てたのか。

答／本年4月から見直しの第一歩として、分室の職員を集約し、分室の（相談支援）業務を寺町

残念！ 昨年度から 進展なし ファミリーヘルプ児童園

問／昨年6月定例議会でも、小学校入学後の支援の必要性を質したところ、できるだけ改善したい旨の回答であったが、なぜ、令和5年度予算に計上しなかったのか。

答／潜在的な利用者は、一定数想定されるが、小学校低学年の保護者から、同園での預かりを希望する声がないため、直ちに実施する状況にない。また、関係部局等と連携を図りながら、引き続き研究を行っていく。

問／小学1年生から3年生までの児童が、ファミリーヘルプ保育園（日曜・祝日の昼間、1日10人で11時間）を利用した場合の人件費はいくらになるか。

答／令和4年度の実績ベースで積算すると約500万円である。

再質問
問／ファミリーヘルプ保育園の二階に広いスペースがある。そこに、窓・トイレ・非常階段の設置など、法律に触れない最低限の設備を整えればよいのではないか。

答／二階は屋根裏部屋のように、改修となると多額の改修費用がかかると思うので、現実的でないと考え。研究していく。

問／二階は屋根裏部屋のようなものでなく、ちゃんとした部屋になっている。ファミリーヘルプ保育園の利

用者は小学校に入学すると、低額で預けられる場所がないから我慢している状態である。放課後児童クラブは、日曜、祝日は利用できない。だからファミリーヘルプ保育園で少なくとも3年生くらいまでは預かる仕組みが必要になる。

答／教育委員会主管の放課後児童クラブを日曜、祝日に開設できればと視野に入れている。一定数の潜在的な需要はあると認識しているので、検討していきたい。

ファミリーヘルプ児童園提言
昨年6月定例議会の質疑内容（議会だより13号：丸山章のホームページ）をご覧ください。

あきらのつばやき

子育て日本一を標榜する市長の公約からして、即断即決でよい案件です。現在の使用施設を有効利用しようとする意欲を示せないほか、できない理由をすぐにお金にすり替える常套手段、もう少し前向きに考えてほしいものです。

一筋の光明に期待。放課後児童クラブを日曜、祝日に開設することを検討しているとのこと。

果たして一年後はいかに

決定 県立有恒高等学校存続へ『県を動かす』

有恒高校同窓会他板倉区5団体の熱意

有恒学舎（現有恒高校）を創設された教育者「増村朴斎」先生の偉功、建学の精神はこれからも受け継がれることに!!

「増村朴斎」先生は、8

歳で諏訪神社大職の文字を書くなど、村民から神童と言われた。14歳で上京して様々な学び、経験を積まれたのち、全財産を投じて明治29年に「有恒学舎」を開校し、校訓である「三綱領五学規」を定められ、今日に至っている。

存続に向けた経緯

平成29年1月6日に、有恒高校のあり方を考える有志の会を開催以降、学校の今後を考える会等11回に及ぶ検討会、研修会、会議を経て、市・県へ要望書を提出した。

令和3年11月25日

学校の存続について、有恒高校同窓会長ほか、板倉区5団体の連名により、

上越市教育委員会教育長に協力要請を行った。

〈参加者〉有恒高校同窓会長 小林正之氏、板倉区まちづくり振興会理事長 藤沢雄一氏、丸山章

令和3年12月13日

学校の存続について、有恒高校同窓会長ほか、板倉区5団体の連名により新潟県教育委員会教育長へ要望書を提出した。



新潟県教育委員会に要望書提出

〈参加者〉有恒高校同窓会長

小林正之氏、板倉区町内会長 長連絡協議会長 小林強氏、板倉区まちづくり振興会理事長 藤沢雄一氏、斎京四郎県議、丸山章

板倉区5団体とは…右記の他、県立有恒高等学校PTA会長 長宮下重紀氏、板倉商工会 長樋口隆史氏

令和5年5月11日

有恒高校における特別支援学校の分校設置について、県教育委員会の説明会が有恒高校で行われた。

新潟県教育委員会の説明内容

県では、存続要望書を受け取ってから直ちに検討会を立ち上げ、要望書に沿って協議を進めてきた結果、空き教室を利用し、県立特別支援学校高等部（軽度の知的障害者を予定）の分校を、設置することとした。

今までどおり普通科の募集は継続される。

分校設置の経緯

【現状】

・県立高田特別支援学校の在籍者数増加による校舎の狭隘化

有恒高校のメリット

・障害の理解や共生社会への意識醸成

・キャリア教育の推進

・多様な生徒への支援の充実

分校施設利用案

・南北校舎2階（一部未使用）を常時使用

・1学年2学級（1学級10人）。3学年で6学級60人規模。

・音楽室や体育館等是有恒高校と共用

・生徒・職員玄関は、有恒高校の生徒玄関を利用

今後の主な予定

・令和5年11月：基本設計

・令和6年4月：工事準備・開始

・令和7年4月：開校（3

か年かけて3学年になる）

【編集後記】

市議会議員に当選させていたから早8年、任期も後わずかになりました。この間、市政を少しでも前進させようと努力したつもりですが、思うようにいかなかった面は否めませんが、これからも市政発展に微力を尽くしたいと存じます。

いままで、市民の皆様からのご指導、貴重なご意見等に、心から感謝申し上げますとともに、寒さが身に染みる日が続くと思いますので、皆様、何卒ご自愛ください。また、ようお願い申し上げます。

■丸山章のHPに議会だよりを掲載してありますので、ご覧いただければ幸いです。

ご相談、ご意見等は お気軽に
市会議員 丸山 章

携帯 090-4724-0574
TEL 025-528-3859
FAX 025-528-3859

Eメール(新アドレスになりました)
amaru103@yahoo.co.jp

ホームページ 丸山章